

【作り方説明書】

燕尾ブラウスの型紙

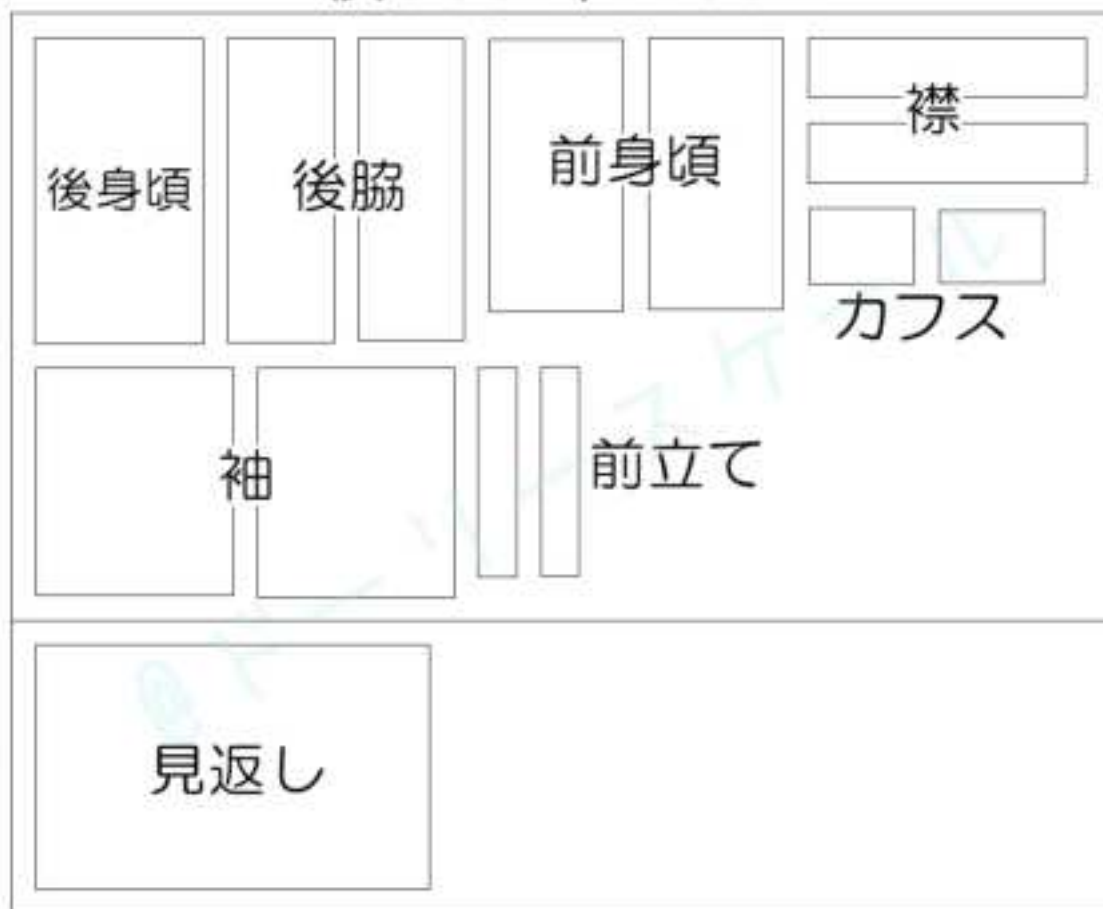
■詳細対応サイズ ・ 58cm ソフビ M	■難易度 イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地 の厚み 0.25mm	■用意するもの <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通～やや薄手の生地 ・ 薄手の裏地 ・ リボン ・ スナップボタン ・ 解れ止め液
■手縫い可否 OK	■裏地について ローン生地など、薄手がおすすめ。 厚みがあると燕尾の角が出辛くなります。
■布に書き写すパーツリスト ①②襟 2枚→そのまま2枚 ③後身頃 1枚→そのまま1枚 ④⑤後脇 2枚→左右反転して2枚 ⑥⑦前身頃 2枚→ // ⑧⑨前立て 2枚→ // ⑩⑪袖 2枚→ // ⑫⑬カフス 2枚→そのまま2枚 ⑭見返し 1枚→そのまま1枚 合計：14枚 のパーツで構成	

■必要な布量参考数値

燕尾ブラウスの型紙【58cmM】

横90cm, 110cm

縦49cm

縦24cm
*別布

燕尾ブラウスの型紙【58cmM】

横140cm

縦29cm

縦24cm
*別布

01. 型紙を貼り合わせる

- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

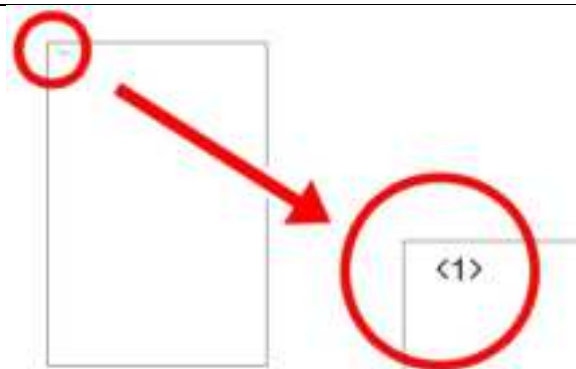
（番号は型紙の左上に記載

※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。

型紙の種類によって貼り合わせる

枚数、数字は違います。

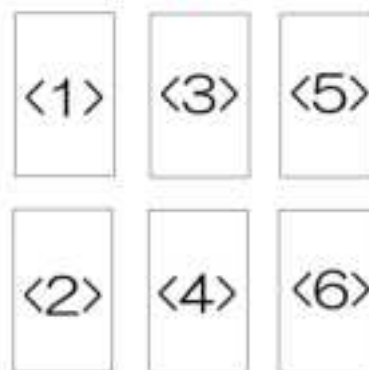
枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。



- ② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

（「青色の数字の型紙貼り合わせる」

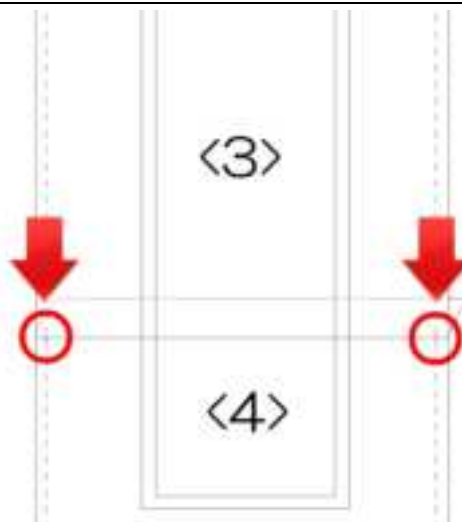
という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

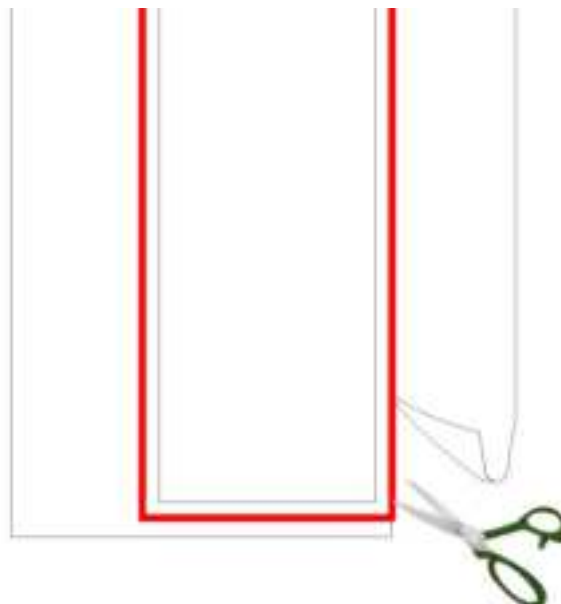


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



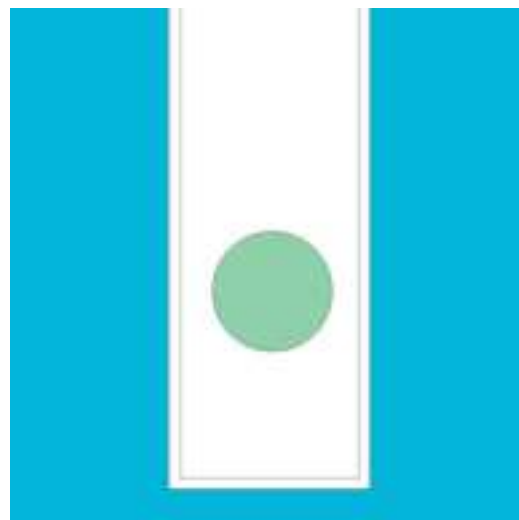
02. 型紙を切り取る。

02～07 の右図は全型紙共通で使用
しています。



03. 布を裏にして型紙を置く。

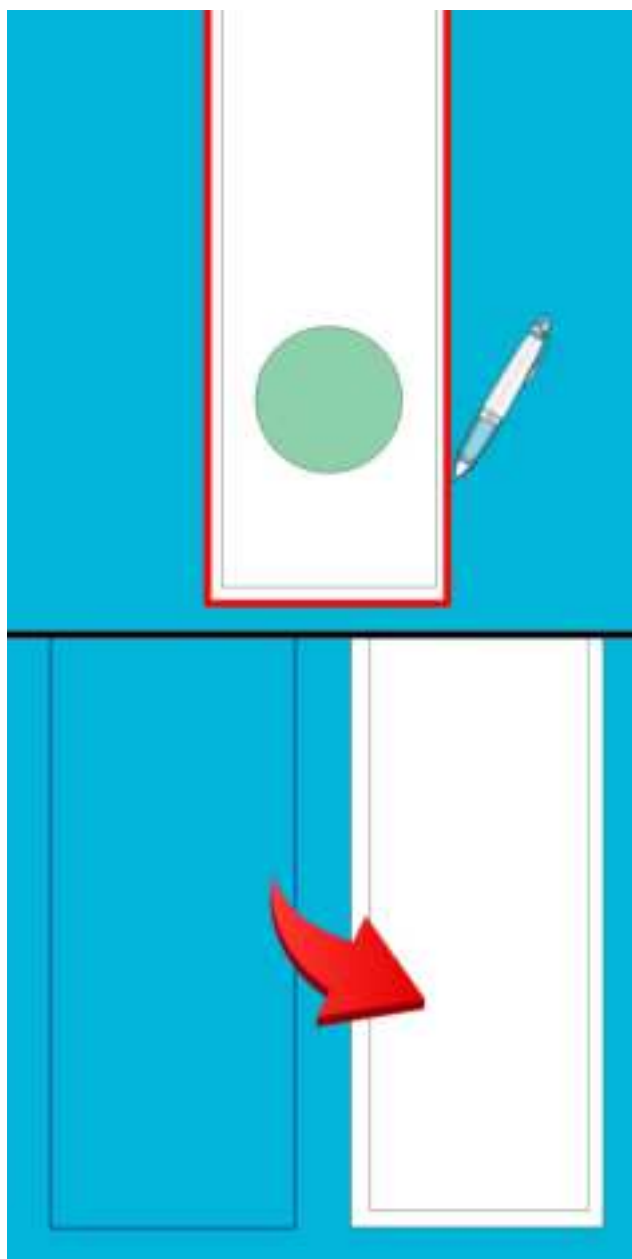
まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。



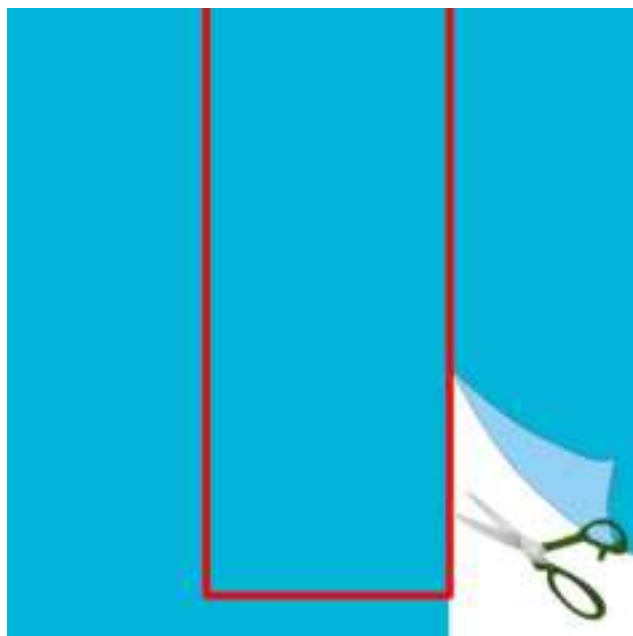
04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

※オススメのチャコペン

- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
- ・クロバー 水性チャコペン

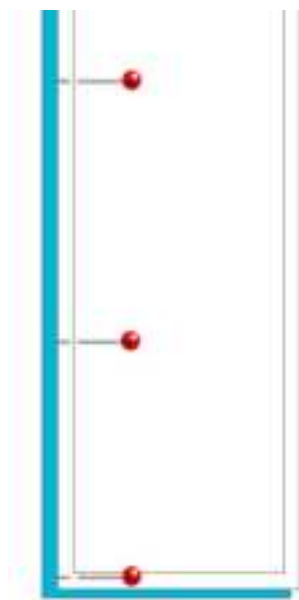


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ”をする。(①～⑧)

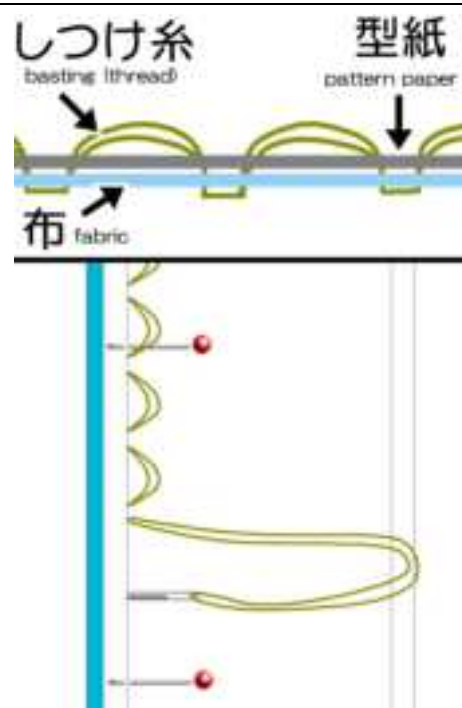
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕



布の表
right side

型紙側
Paper pattern side

合い印
matchmarks

布の表
right side

- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。

④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けずに、
アイロンか指で糸を寝かせる。

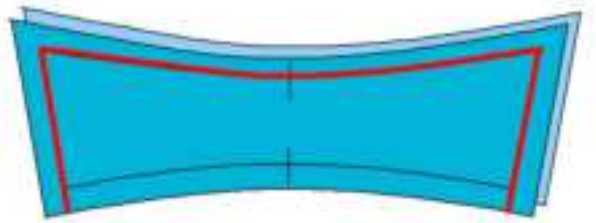


08. 見返しの上側に解れ止め液を塗布する。

〔ポリエステルなどの化繊の場合は、
ヒートカッター等で溶かして切る方法もおすすめ。〕

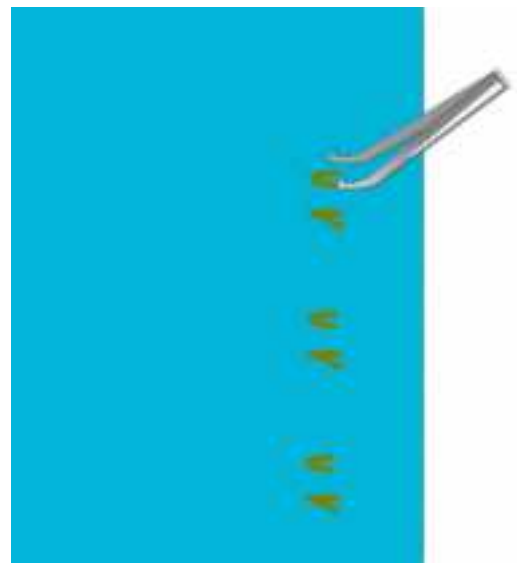


09. 表が内側になるように、襟を合わせて縫う。



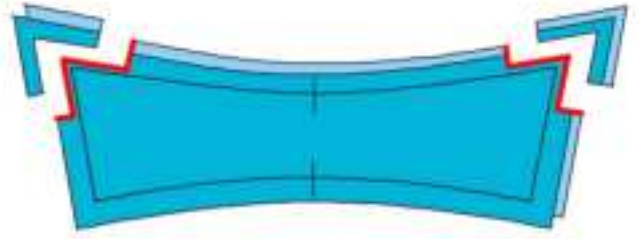
10. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕

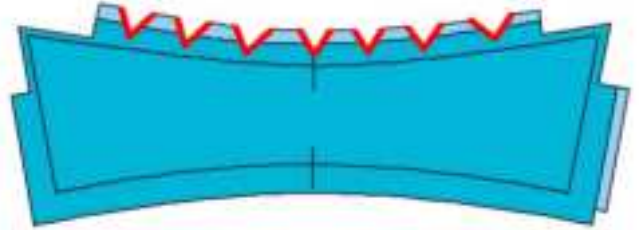


11. 角を切り落とす。

09 で縫ったところから、0.3cm くらいのところを切る。
縫い代の角を切り落としておかないと、仕上がりが悪くなる。

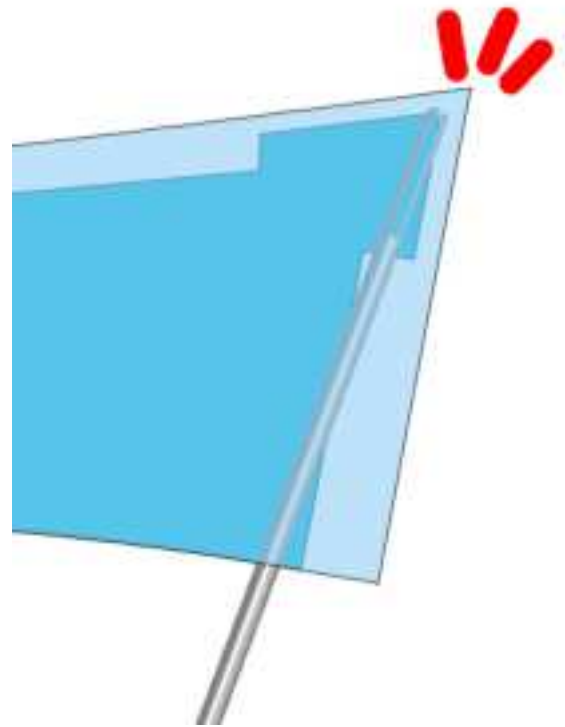


12. カーブに切り込みを入れる。

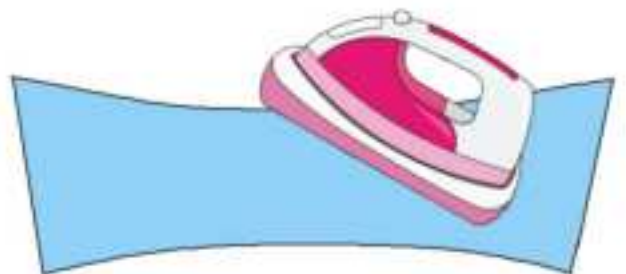


13. 表に返して角を優しく押し出す。

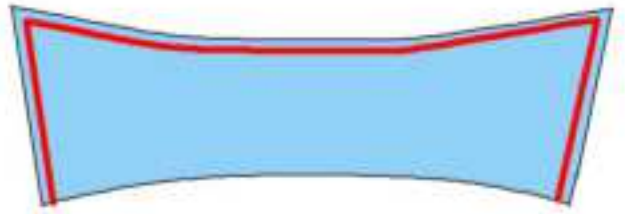
布団等の太い針を使う。
ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”などでも代用出来る。
あくまでも優しく内側から押して角を出す。
強く押したり、尖ったもので押したりすると貫通し 布が傷む可能性も。
反対側も同じように整える。



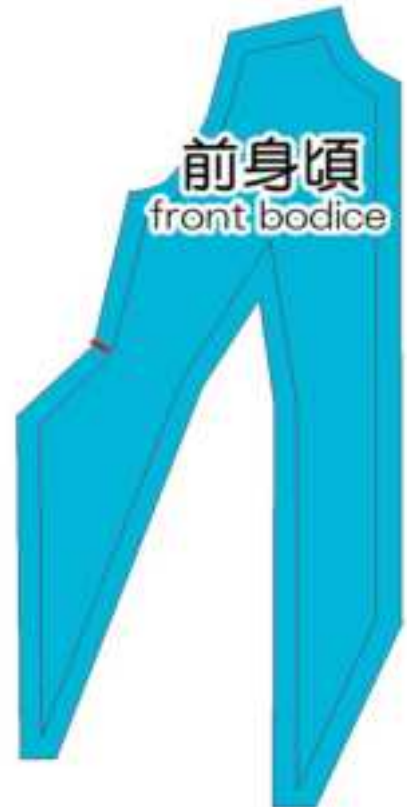
14. 表に返してアイロンをかける。



15. 襟の縁を縫う。

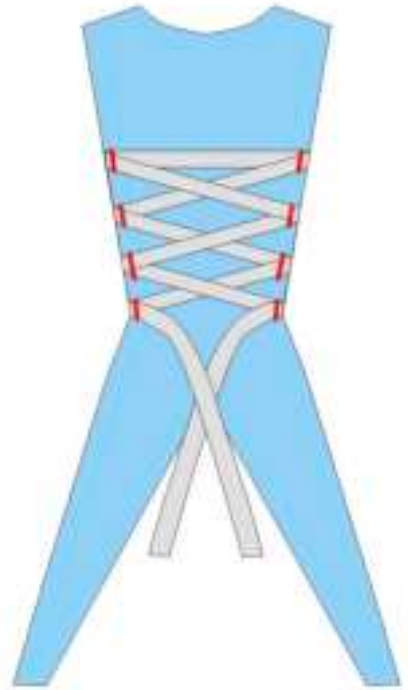


16. 前身頃×2、後身頃、後脇×2
のウエストに切り込みを入れる。



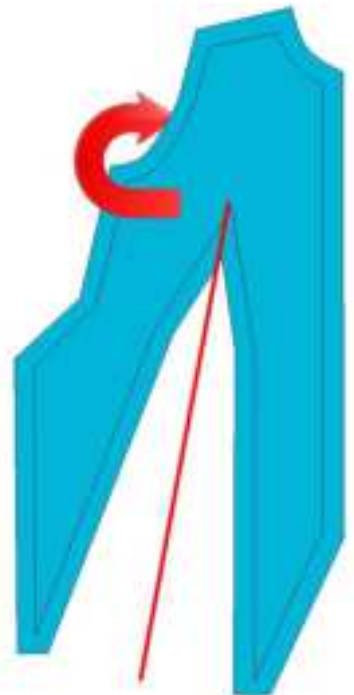
17. 後身頃にリボンを仮縫いする。

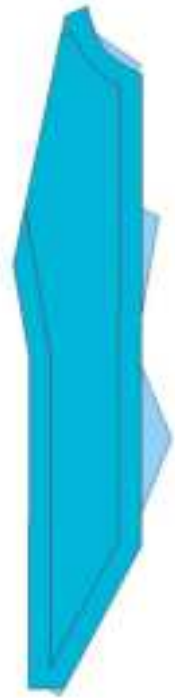
- 〔リボンを付けない場合はこの工程は省く。
- クロス方向はお好みで。
- リボンの代わりに穴の開いたレース等をはさんで、
- 後でリボンを通す方法もおすすめ。



18. 表が内側になるように、前身頃のダーツ部分を合わせる。

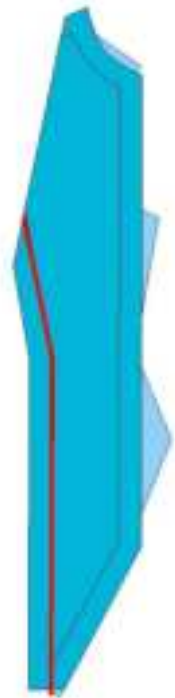
- 〔ダーツ：布を立体的にするための縫い方
- 反対側も同じように合わせる。





19. ダーツを縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



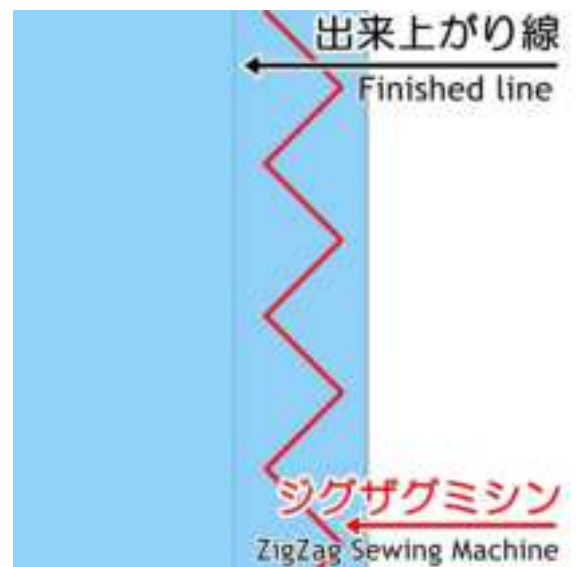
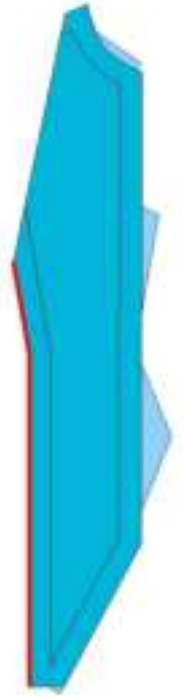
20. ダーツの縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



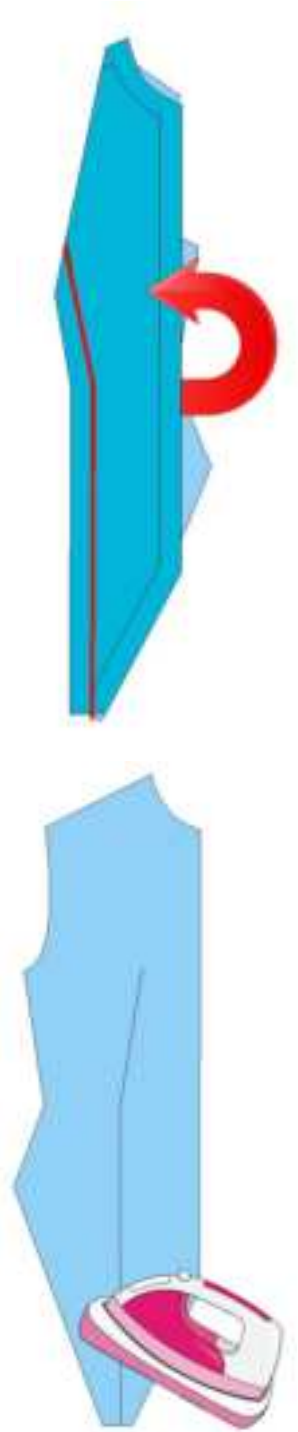
家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。

反対側も同じように縫う。

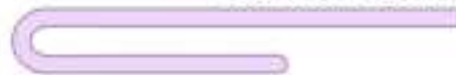


21. ダーツ縫い代を前中心側に倒してアイロンをかける。
〔 反対側も同様にアイロンをかける。〕



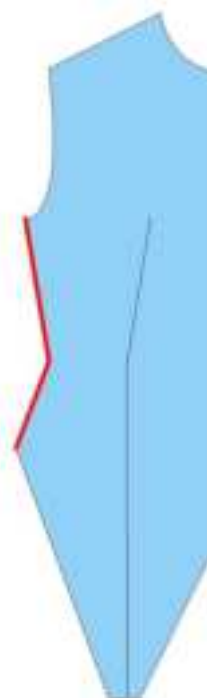
横から見た時
side view

中央側
center side



脇側
side

22. 前身頃、後脇の脇部分にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



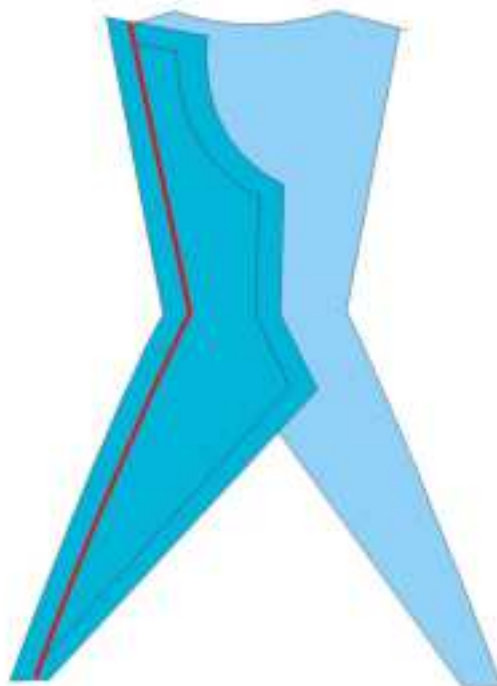


23. 袖の両脇にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



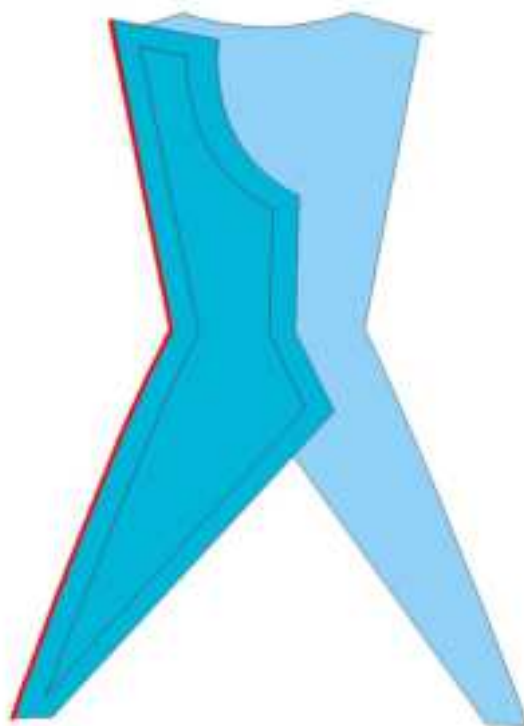
24. 表が内側になる様に、後身頃と後脇を合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



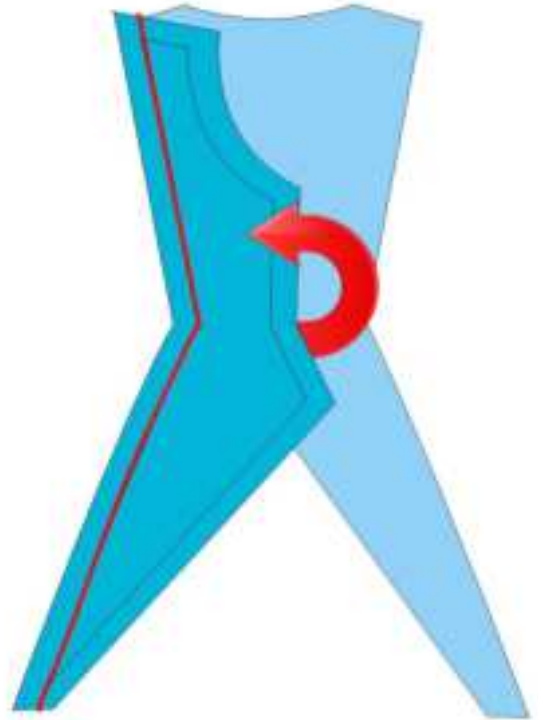
25. 縫い代をロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



26. 後脇を開いてアイロンをかける。

- 縫い代は後脇に倒す。
- 反対側も同じようにアイロンをかける。



横から見た時 side view

後脇
side



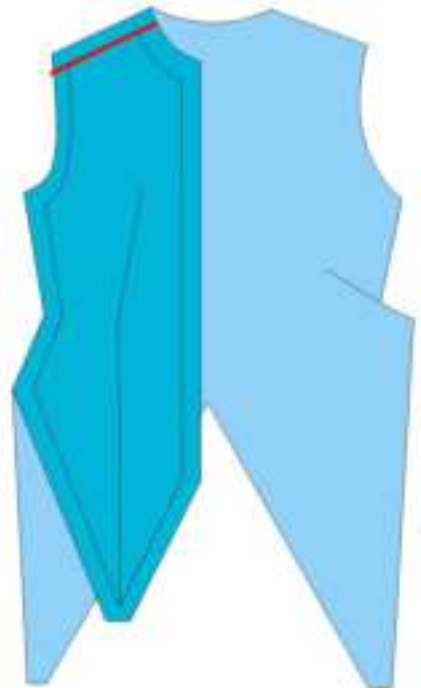
後身頃
back bodice

27. 前身頃×2、後身頃+後脇の肩にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

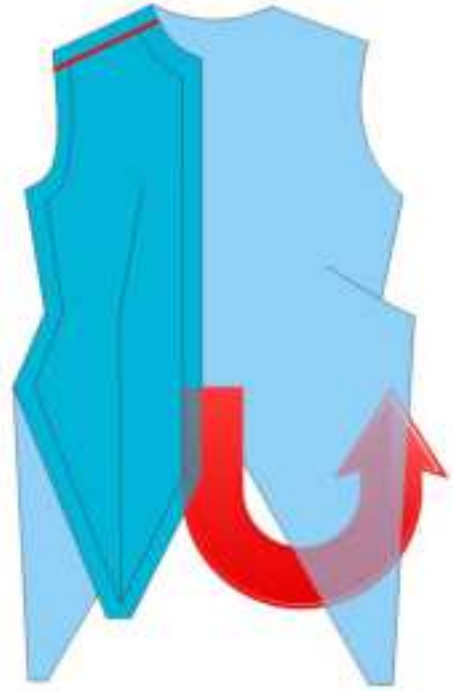




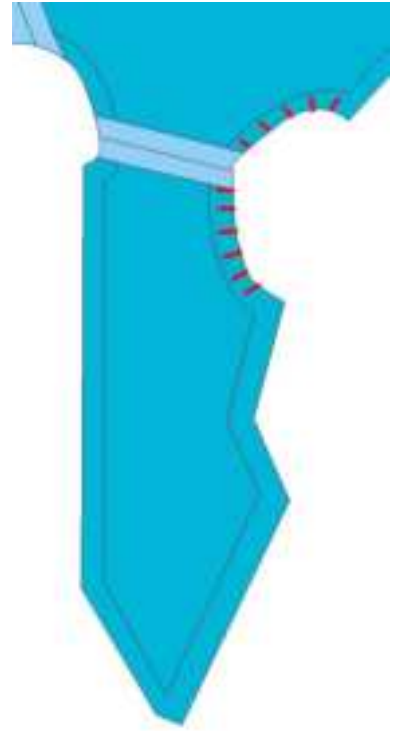
28. 表が内側になる様に、
前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



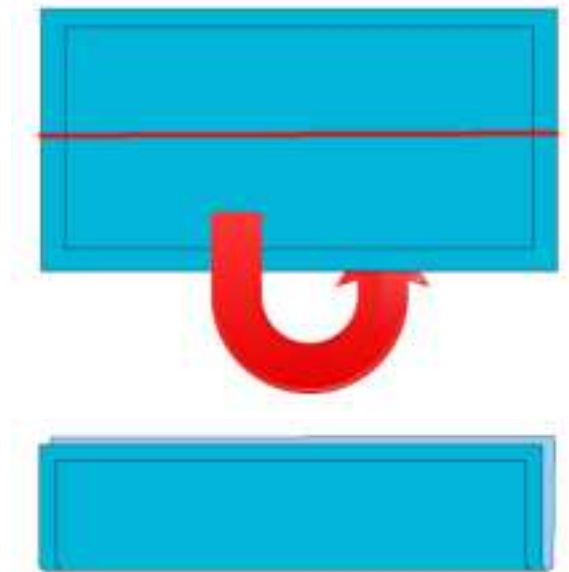
29. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



30. 袖のカーブに切り込みを入れる。
 [反対側も同じように切る。



31. 表が内側になる様に、カフス×2 を真ん中で折る。

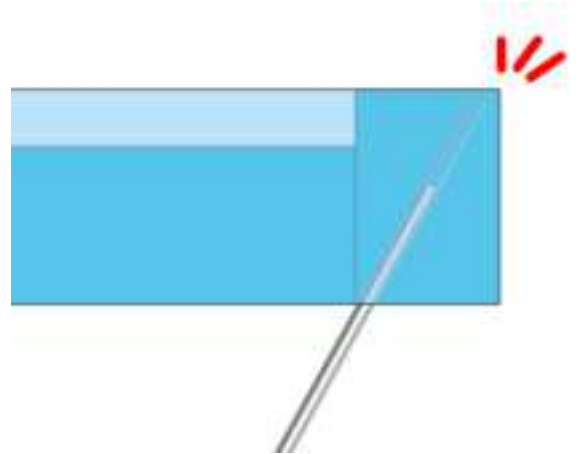


32. カフス×2 を両サイドを縫う。

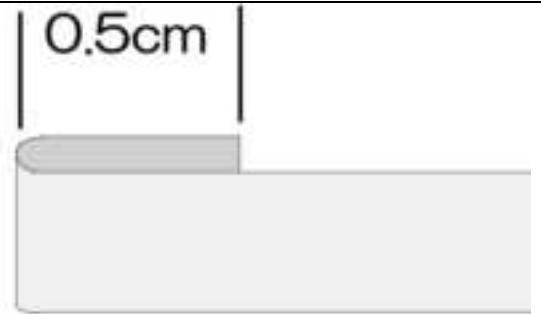


33. カフス×2 を表に返して角を優しく押し出す。

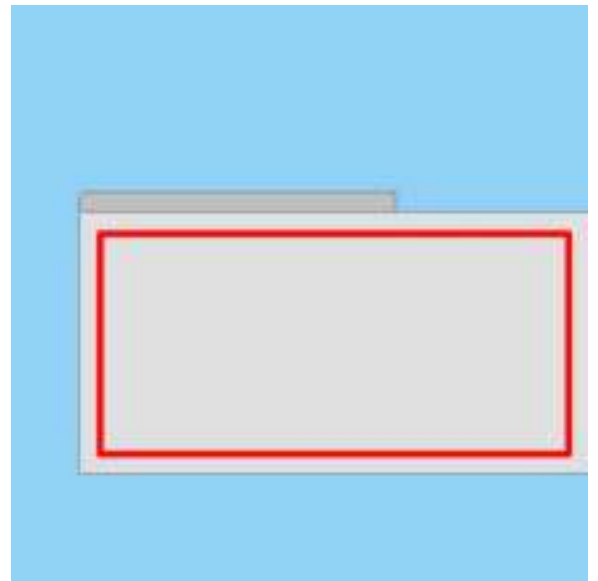




34. カフス用リボン×4 の端 0.5cm を折る。

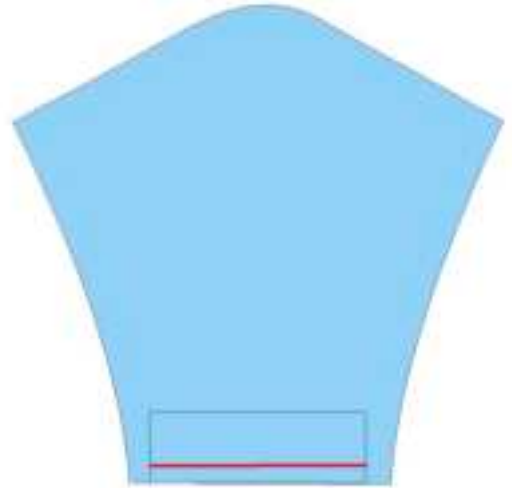


35. カフス×2 にリボンを付ける。
〔 必要が無い場合は次の工程へ。〕



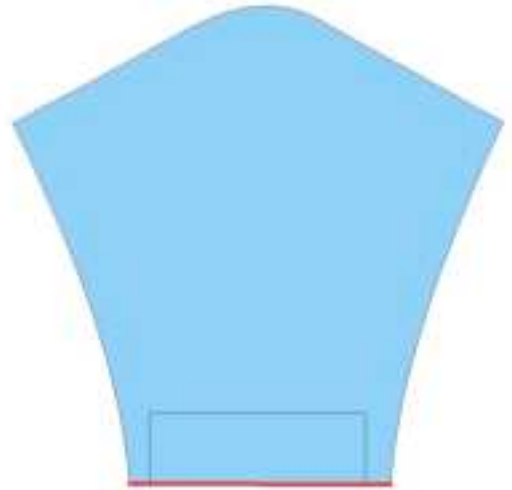
36. 表が内側になる様に、袖口とカフスを合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



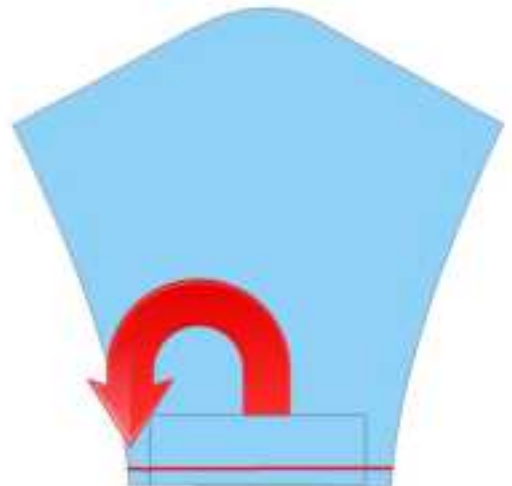
37. 縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 袖と身頃を一緒に縫う。
反対側も同じように縫う。〕



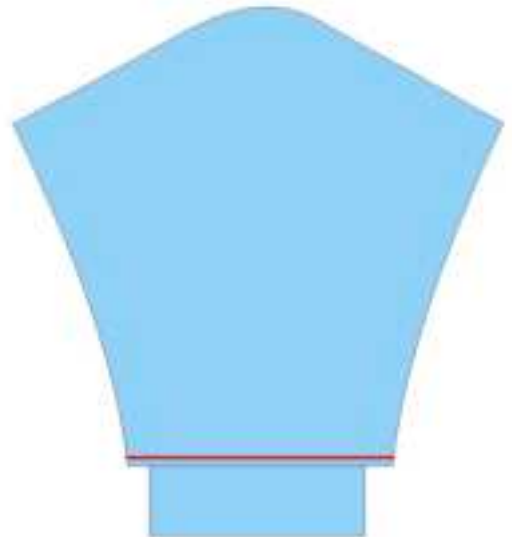
38. カフスを折る。

〔 袖の縫い代も一緒に折る
反対側も同じように縫う。〕

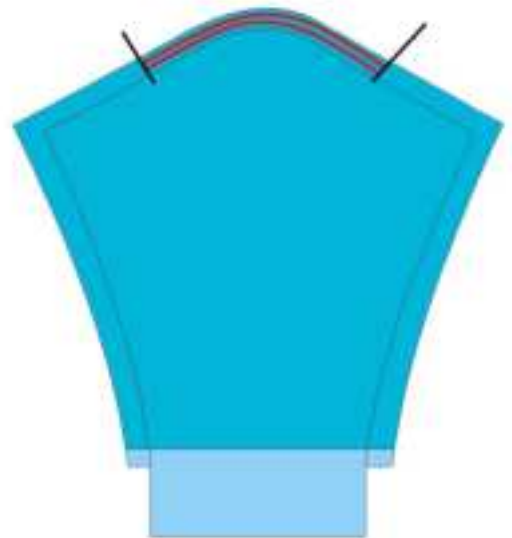




-
39. 縁を縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



-
40. 袖×2 の破線部分に”ギャザーを寄せるミシン”を縫う。



①ミシンの上糸の糸調節を“弱”にする。

〔ダイヤルの場合は0にする。〕



②縫い目の長さを4mm程度にする。

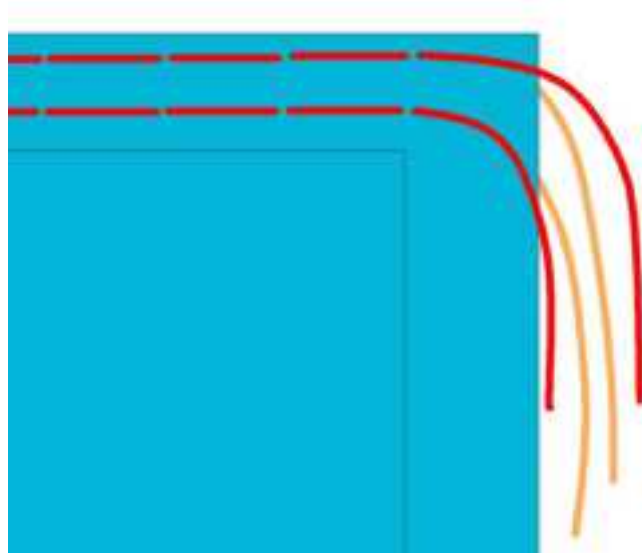


③縫い始めの糸は上下共に10cm以上出しておく。

〔上糸と下糸の色を変えておくと、後でわかりやすい。〕

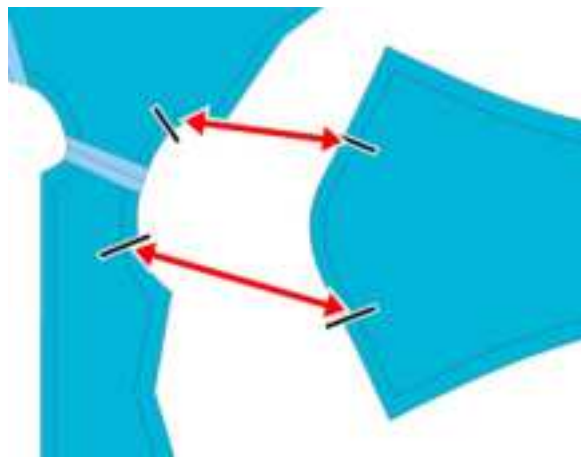


④布の端から2mm程度のところを縫い、
縫い終わりの糸も10cm以上残して切る。
2本目は布端から4mm程度のところを縫う。

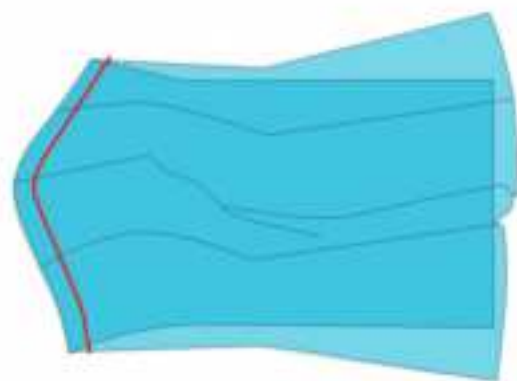
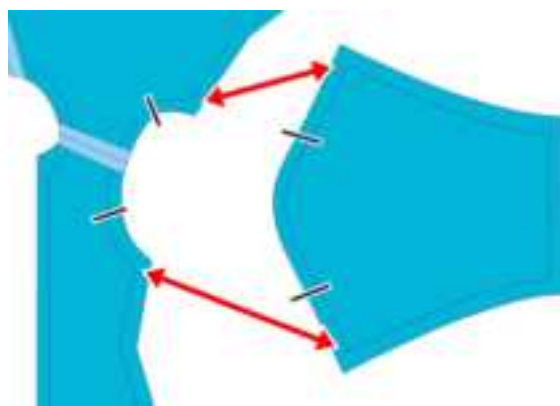


⑤上糸の調節(①)と、縫い目の長さ(②)を元に戻す。

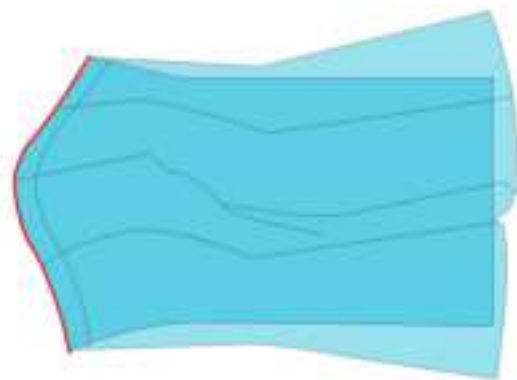
41. 表が内側になる様に、
身頃の“ギャザー止まり”を目印に袖を合わせギャザーを寄せる。
〔 反対側も同じようにギャザーを寄せる。〕



42. 身頃と袖の端を合わせ、
41 で合わせたところも含めて縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



43. 縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのシグザグで縫う。
〔 袖と身頃を一緒に縫う。
反対側も同じように縫う。〕



44. 表が内側になる様に、身頃を半分に折る。



45. 脇を縫う。

- 縫い代を袖側に倒す。
- カフスを縫わない様に注意。
- 反対側も同じように縫う。



横から見た時
View from the side

身頃
bodice

袖
sleeve



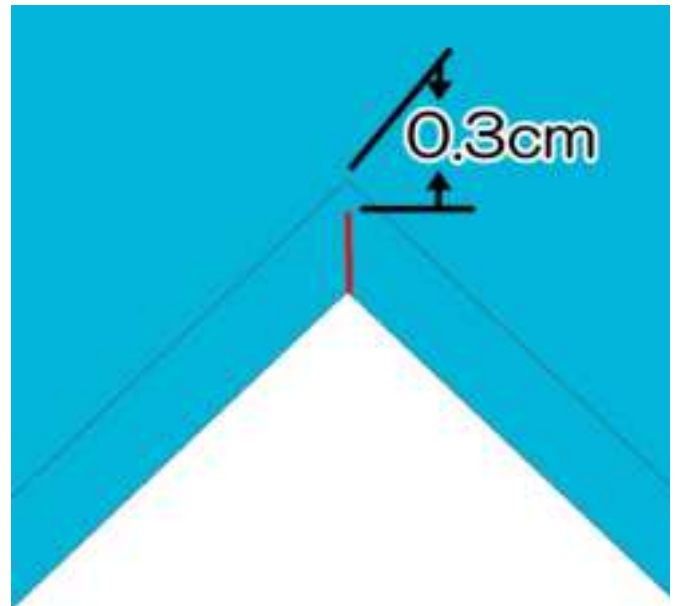
46. 見返しを縫う。



47. △ の所に切り込みを入れる。

縫ってある線から 0.3cm くらい離して、
切り込みを入れる。

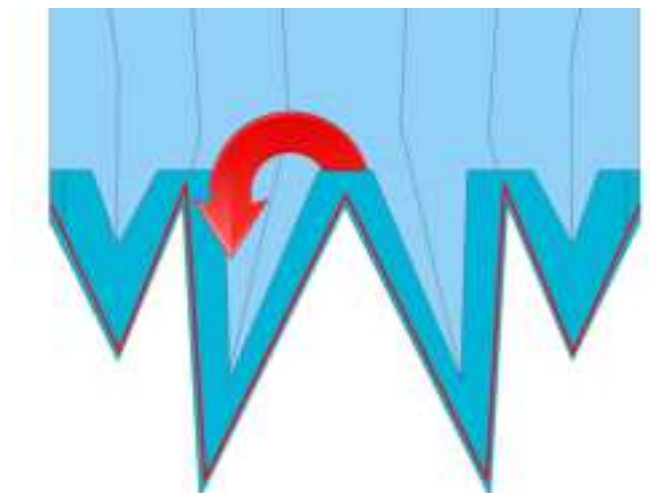


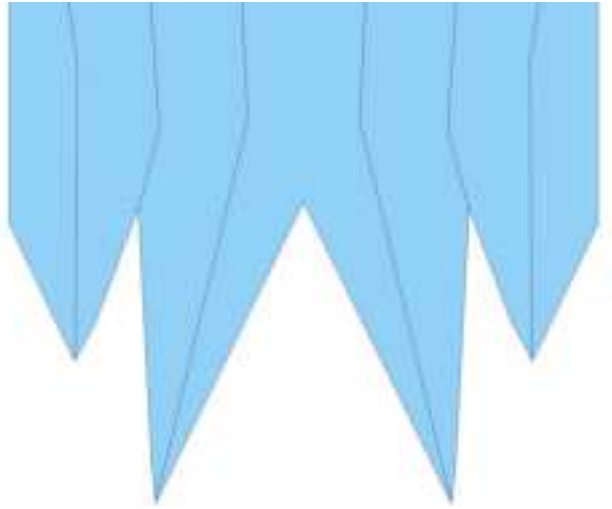


48. 縫い代を 0.3cm くらいにカットする。



49. 見返しをひっくり返す。

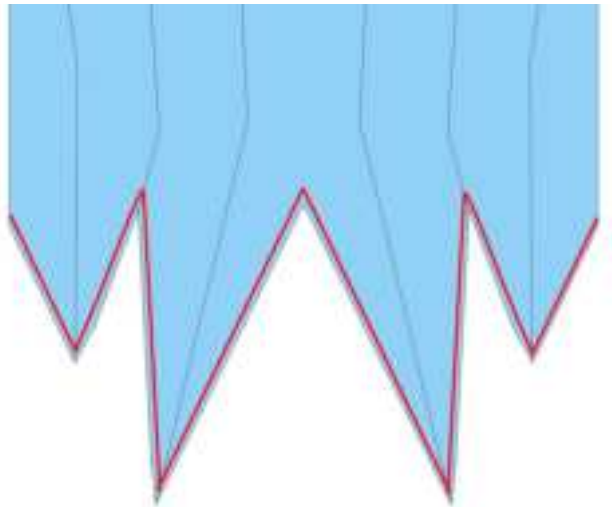




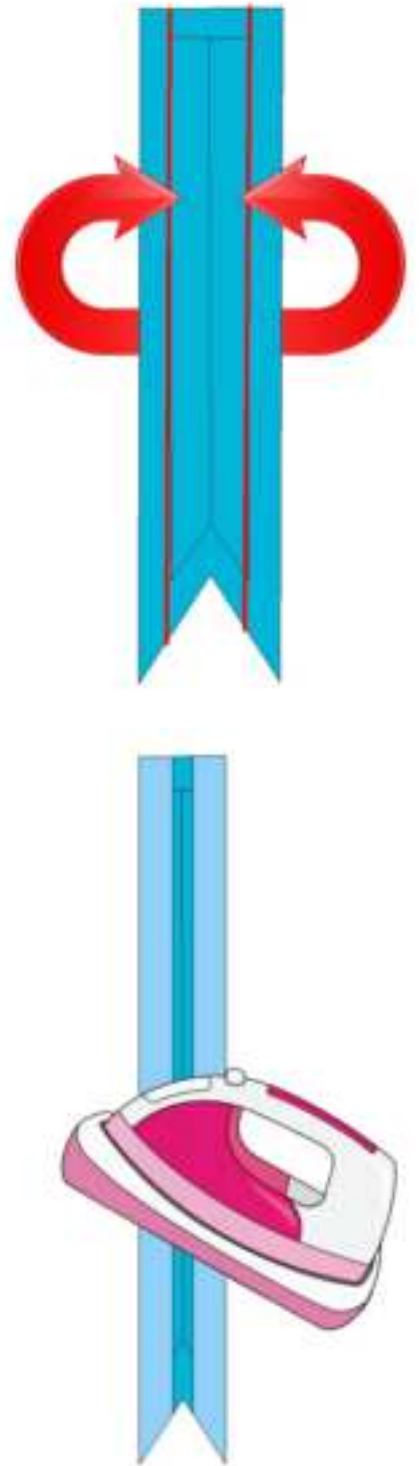
50. 袖を表に返す。



51. 縁を縫う。

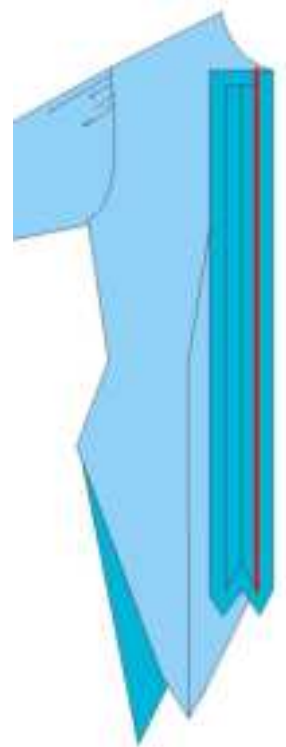


52. 前立て×2 の縫い代を折って、アイロンをかける。



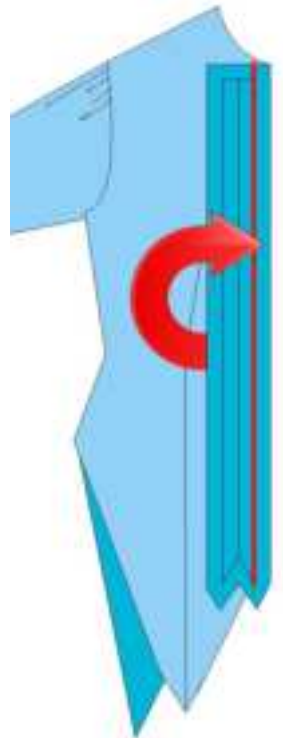
53. 表が内側になる様に、前身頃と前立てを合わせて縫う。

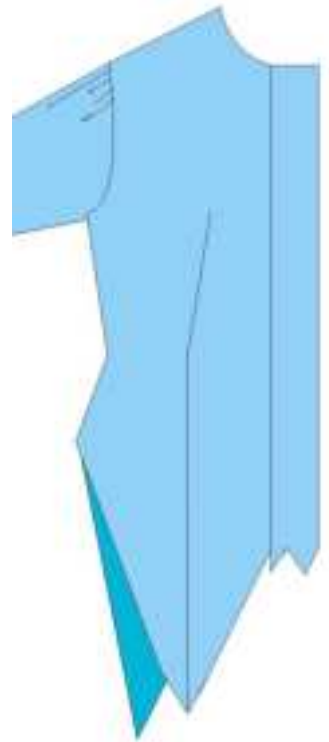
〔 前立ては、縫い代が平らな方が身頃の襟側になる。
反対側も同じように縫う。〕



54. 前立てを折る。

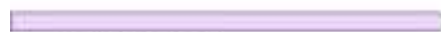
〔 反対側も同じように折る。〕





横から見た時
side view

前立て
Front piece



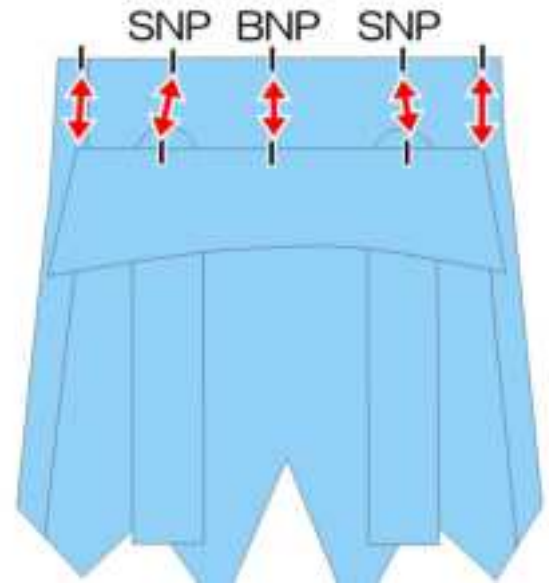
前身頃
front bodice

55. 襟ぐりに切り込みを入れる。



56. 表が内側になる様に、襟ぐりと襟を合わせる。

〔 襟は前立ての 1/4 の場所と合わせる。〕



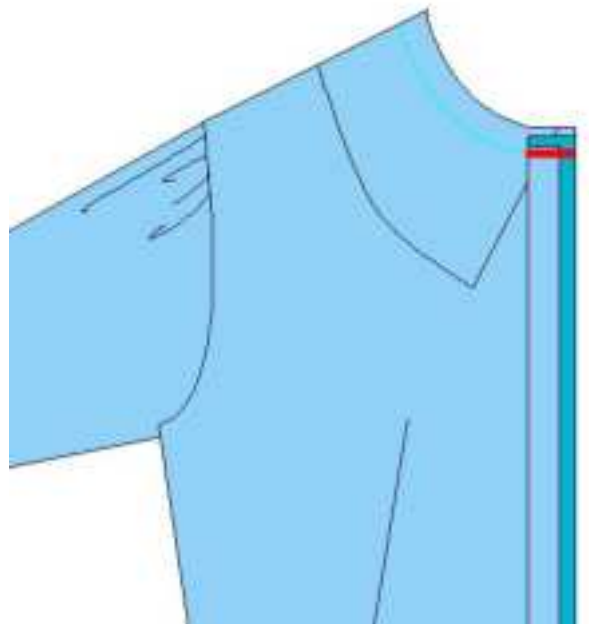
57. 合わせたところを縫う。



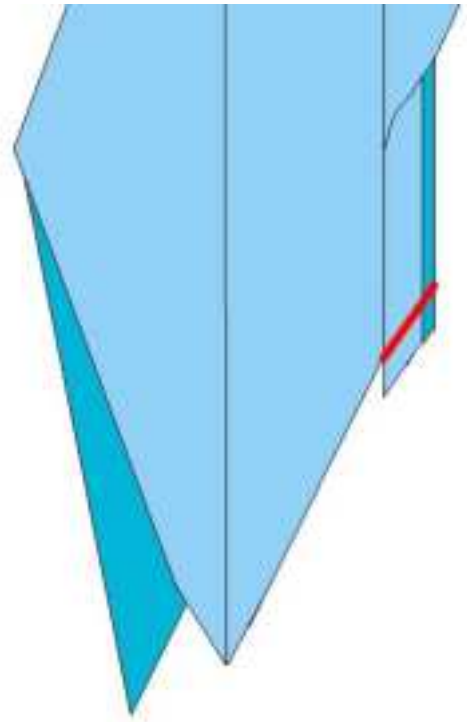
58. 縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。
〔 襟と襟ぐりを一緒に縫う。〕



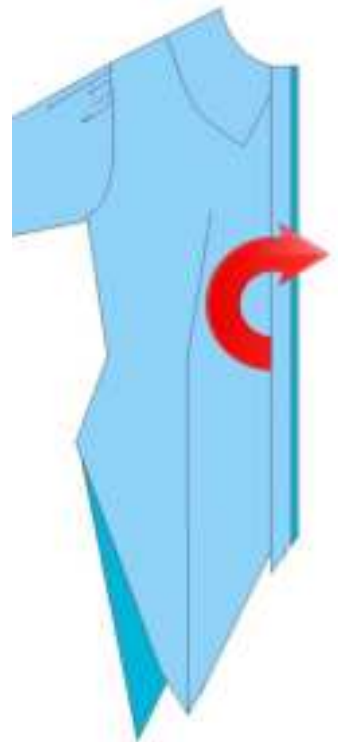
59. 前立てを真ん中で折って上を縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕

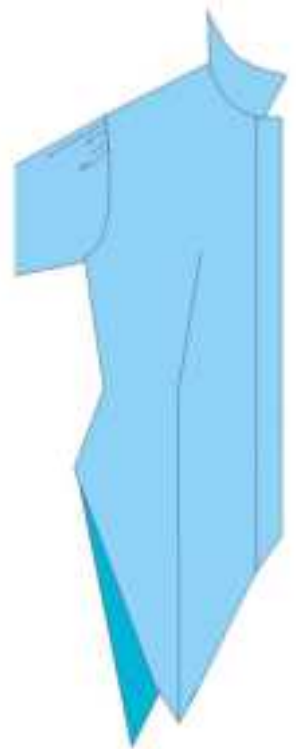


60. 前立ての下を縫う。
〔反対側も同じように縫う。〕



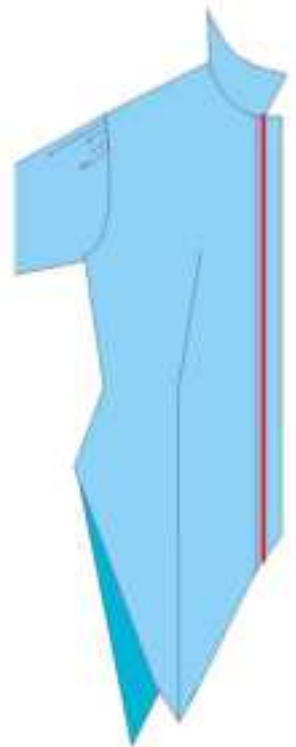
61. 前立てをひっくり返す。
〔反対側も同じように返す。〕



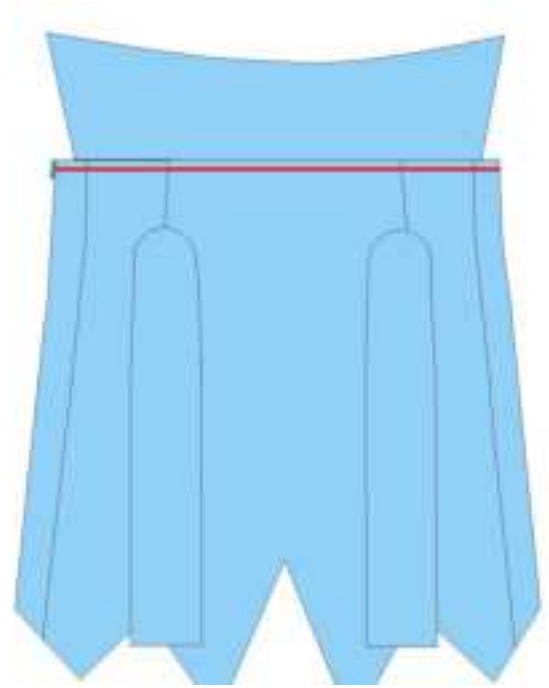


62. 前立ての縁を縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



63. 襟ぐりの縁を縫う。



64. 前立てに、スナップボタンと飾りボタンを付ける。

お疲れ様でした！